平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名　ナカバヤシ株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　7987　URL　http://www.nakabayashi.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 辻村 肇
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長　(氏名) 作田　一成　TEL 06-6943-5555

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,055	△2.3	△399	―	△287	―	△160	―
23年3月期第1四半期	10,287	△1.2	△261	―	△109	―	△103	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　△325百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△315百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2.89	―
23年3月期第1四半期	△1.86	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	41,693	18,231	42.3
23年3月期	43,517	18,724	41.6

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　17,631百万円　23年3月期　18,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		3.00	―	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	1.7	20	―	120	16.1	0	―	0.00
通期	48,500	2.8	1,200	50.0	1,400	30.5	500	19.6	8.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	61,588,589 株	23年3月期	61,588,589 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	5,859,207 株	23年3月期	5,858,476 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	55,729,795 株	23年3月期1Q	55,738,086 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・4

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・4

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・4
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・4

３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・5

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・5
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・7
(3)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・9
(4)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

（単位：百万円）

	平成23年３月期 第１四半期	平成24年３月期 第１四半期	増減額
売上高	10,287	10,055	△232
営業損失（△）	△261	△399	△138
経常損失（△）	△109	△287	△177
四半期純損失（△）	△103	△160	△56

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産や輸出が減少し、景気は急速に悪化いたしました。一部の業種においては持ち直しの動きも出始めていますが、原発事故の影響による電力不足などの懸念材料もあり、景気は先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは平成23年６月に創立60周年を迎え、「おかげさまで60周年」のフェア、キャンペーン、広告など積極的な営業活動を展開してまいりました。製品販売部門のステーショナリー関連事業は、新製品などの販売が好調で順調に推移いたしましたが、受注部門である印刷製本関連事業は市場環境の急速な変化などにより低迷いたしました。また、採算確保が難しくなっている連結子会社のロアス株式会社を平成23年６月末で解散し、同社の事業を当社及び連結子会社に統合いたしました。

この結果、当社グループの当第１四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比2.3％減の100億55百万円となりました。

一方、利益面では、原価率は横ばい推移となりましたが、売上高の減少並びに販売費及び一般管理費の増加により、営業損失は３億99百万円（前年同四半期営業損失２億61百万円）、経常損失は２億87百万円（前年同四半期経常損失１億９百万円）と採算が悪化いたしました。

また、特別利益は投資有価証券売却益など、合計で１億10百万円を計上し、特別損失は災害損失など、合計で３百万円を計上いたしました。この結果、法人税等税負担調整後の四半期純損失は１億60百万円（前年同四半期四半期純損失１億３百万円）となりました。

なお、セグメントの状況は以下のとおりです。

①印刷製本関連事業

図書製本につきましては、製本需要の縮小が続いているなか、公共図書館からの受注、資料保存やデジタル化などの拡充に努めましたが、震災の影響による製本受注の遅れなどもあり、依然厳しい状況にあります。ビジネスフォームにつきましては、ペーパーレス化の進行により市場環境は急速に変化し、受注単価が下落したことから採算性は低下いたしました。また法人向け手帳につきましては、競争激化による受注単価の下落と販売数の減少により売上高は減少いたしました。

この結果、当事業の売上高は45億96百万円（前年同四半期比6.2％減）営業損失は３億36百万円（前年同四半期営業損失１億49百万円）となりました。

②ステーショナリー関連事業

専門店、ＧＭＳ、雑貨専門店、カメラチェーン店などへの販売強化を図るとともに、通販・ネット販売への取り組み強化、新規顧客の開拓などに引き続き注力いたしました。小型スキャナ「フォトレコ」が好調に推移し、また新製品として「ＯＮＥ　ＰＩＥＣＥ」キャラクターのアルバムを発売するなど、アルバム及び写真関連製品は順調に推移いたしました。また連結子会社のフランクリン・プランナー・ジャパン株式会社が販売するシステム手帳「フランクリン・プランナー」も堅調に推移いたしました。フォトブックにつきましては、「フエルプロＡＳＰ」を利用して他社との提携を図るなど拡充に努めました。

この結果、当事業の売上高は30億29百万円（前年同四半期比2.3％増）、営業利益は18百万円（前年同四半期比72.8％増）となりました。

③環境事務機器関連事業

大型シュレッダにつきましては、循環型リサイクルシステムの事業を推進し環境関連製品の販売強化や新規顧客の開拓に注力いたしましたが、溶解処理など市場のニーズは多様化しており依然厳しい状況が続いております。また、中・小型シュレッダにつきましては、大手民間企業を中心に販売強化に取り組み、堅調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は５億55百万円（前年同四半期比9.4％増）、営業損失は30百万円（前年同四半期営業損失42百万円）となりました。

④ＰＣ周辺機器関連事業

ＵＳＢ扇風機や充電式電池などの節電対策製品や家電量販店向けのＬＡＮケーブルは順調に推移いたしました。一方で平成23年６月末で解散した連結子会社のロアス株式会社の採算性は低下いたしました。

この結果、当事業の売上高は８億89百万円（前年同四半期比3.6％減）、営業損失は20百万円（前年同四半期営業利益17百万円）となりました。

⑤ベビー＆シルバー関連事業

チャイルドシートは堅調に推移いたしました。またベビー関連製品として「パントンユニバース・バギー」を新発売いたしました。シルバーカーなど高齢者向け福祉用具につきましては、総合福祉展の「バリアフリー2011」に出展するなど販売強化に取り組みました。

この結果、当事業の売上高は４億55百万円（前年同四半期比0.1％増）、営業利益は25百万円（前年同四半期比18.9％増）となりました。

⑥その他

その他は、連結子会社の日達物流株式会社が営む貨物運送事業やウーマンスタッフ株式会社が営む人材派遣業などであり、売上高は５億28百万円（前年同四半期比2.4％減）、営業利益は１百万円（前年同四半期比85.4％減）となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて16億92百万円減少し、192億36百万円となりました。これは商品及び製品が２億91百万円、仕掛品が２億67百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が19億47百万円、現金及び預金が７億41百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて１億31百万円減少し、224億57百万円となりました。これは建設仮勘定（固定資産の「その他」）が80百万円、繰延税金資産（固定資産の「その他」）が65百万円それぞれ増加しましたが、投資有価証券（固定資産の「その他」）が２億21百万円、建物及び構築物が68百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第１四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて18億23百万円減少し、416億93百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて27億71百万円減少し、128億２百万円となりました。これは短期借入金が21億68百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14億40百万円増加し、106億59百万円となりました。これは長期借入金が14億97百万円増加したことなどによります。

この結果、当第１四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて13億30百万円減少し、234億62百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて４億93百万円減少し、182億31百万円となりました。これは利益剰余金が３億27百万円、その他有価証券評価差額金が１億24百万円それぞれ減少したことなどによります。

（自己資本比率）

当第１四半期連結会計期間末の自己資本比率は42.3％となり、前連結会計年度末に比べて0.7ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第１四半期の業績につきましては、概ね計画どおり推移しており、平成23年５月２日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,641	3,899
受取手形及び売掛金	9,618	7,671
商品及び製品	3,914	4,206
仕掛品	848	1,115
原材料及び貯蔵品	1,172	1,241
その他	780	1,139
貸倒引当金	△48	△37
流動資産合計	20,928	19,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,458	5,390
土地	10,787	10,787
その他（純額）	2,905	2,943
有形固定資産合計	19,151	19,121
無形固定資産		
のれん	250	232
その他	273	350
無形固定資産合計	524	583
投資その他の資産		
その他	2,987	2,826
貸倒引当金	△73	△73
投資その他の資産合計	2,913	2,752
固定資産合計	22,589	22,457
資産合計	43,517	41,693

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,586	6,030
短期借入金	5,633	3,465
未払法人税等	307	82
賞与引当金	485	360
その他	2,561	2,862
流動負債合計	15,573	12,802
固定負債		
長期借入金	5,331	6,829
退職給付引当金	3,454	3,518
役員退職慰労引当金	32	16
その他	400	294
固定負債合計	9,219	10,659
負債合計	24,792	23,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,740	8,740
利益剰余金	3,711	3,383
自己株式	△1,333	△1,333
株主資本合計	17,784	17,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265	141
繰延ヘッジ損益	6	△3
為替換算調整勘定	32	37
その他の包括利益累計額合計	304	174
少数株主持分	634	599
純資産合計	18,724	18,231
負債純資産合計	43,517	41,693

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
売上高	10,287	10,055
売上原価	7,601	7,422
売上総利益	2,686	2,632
販売費及び一般管理費	2,948	3,032
営業損失（△）	△261	△399
営業外収益		
有価証券売却益	1	－
受取保険金	77	62
受取賃貸料	36	33
その他	110	72
営業外収益合計	224	168
営業外費用		
支払利息	42	33
貸与資産諸費用	14	12
その他	16	10
営業外費用合計	73	55
経常損失（△）	△109	△287
特別利益		
固定資産売却益	10	0
投資有価証券売却益	－	110
貸倒引当金戻入額	11	－
負ののれん発生益	5	－
その他	1	－
特別利益合計	28	110
特別損失		
固定資産処分損	2	0
投資有価証券評価損	21	－
災害による損失	－	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	56	－
その他	0	－
特別損失合計	80	3
税金等調整前四半期純損失（△）	△161	△179
法人税、住民税及び事業税	61	70
法人税等調整額	△71	△55
法人税等合計	△10	15
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△150	△195
少数株主損失（△）	△46	△34
四半期純損失（△）	△103	△160

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△150	△195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	△124
繰延ヘッジ損益	△11	△10
為替換算調整勘定	1	4
その他の包括利益合計	△165	△130
四半期包括利益	△315	△325
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△264	△290
少数株主に係る四半期包括利益	△50	△35

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

該当事項はありません。